

ーアジア共通の GAP のプラットフォームとなることを目指してー

## ASIAGAPはGFSI承認を取得しました

一般財団法人日本 GAP 協会は、日本発の GAP 認証プログラムである ASIAGAP について、Global Food Safety Initiative (GFSI) のベンチマーク要求事項を満たした規格として 10 月 31 日に承認されましたことをお知らせいたします。

### ◆ GFSI 承認の概要

- ・承認された認証プログラム：ASIAGAP  
基準文書：ASIAGAP Ver.2 青果物、穀物、茶  
ASIAGAP 総合規則 2017
- ・承認されたセクター：B I（植物の生産）、B II（穀類・豆類の生産）、D（植物性食品の前処理）
- ・GFSI 評価の基準文書：GFSI Benchmarking Requirements Version7.1

### ◆ ASIAGAP に係る運用実績

#### (1) 契約認定機関

- ・公益財団法人 日本適合性認定協会

#### (2) 契約認定機関より認定を受けた契約認証機関

- ・インターテック・サーティフィケーション 株式会社
- ・株式会社 北海道有機認証センター 北海道 GAP 認証センター
- ・一般社団法人 日本能率協会 審査登録センター
- ・ビューローベリタスジャパン 株式会社

#### (3) 契約認証機関より認証を取得した組織

- ・B I 及び D セクター：165 組織（1,368 農場）
  - ・B II 及び D セクター：24 組織（48 農場）
- ※2018年3月末時点

問合せ先：荻野（おぎの） TEL 03-5215-1112 FAX 03-5215-1113 E-mail: [info@igap.jp](mailto:info@igap.jp)

（取材を希望される場合は、下記を記入の上、FAX または E-mail で送付ください。）

御社名

部署名

御名前

住所

電話番号

### ◆ 本申請の経緯と意義

ASIAGAP は、昨年 11 月 29 日に GFSI に対してのベンチマーク申請を行い、翌 1 月から GFSI による監査が本格的に開始されました。本年 3 月には協会事務所において GFSI 監査員による事務所監査が行われ、さらに 8 月末にも協会の運用実績についての再評価が行われ、この結果報告書のパブリックコンサルテーションが本年 9 月 11 日から 4 週間、GFSI のウェブサイトに掲載されました。その後、これらの評価結果を踏まえ GFSI により承認されました。

この GFSI 承認により、ASIAGAP が国際的な GAP 認証プログラムと認められることとなり、認証を受けた農場の生産物のグローバル展開を後押しするものとなります。日本 GAP 協会は、アジア唯一の GFSI 承認を受けた GAP 認証プログラムとして、ASIAGAP をアジア共通の GAP のプラットフォームとすることを目指して取り組んで参ります。

#### (参考 1) GFSI について

GFSI (Global Food Safety Initiative : 世界食品安全イニシアティブ) とは、食品安全の向上と監査コストの適正化を目的とした民間事業者による国際的な組織です。世界にある多種多様な食品安全マネジメントスキーム間の等価性を図るためのプログラムである GFSI Benchmarking Requirements を運用しています。これに基づきこれまでに GFSI の承認を受けている GAP もしくは GAP を含む認証プログラムは、Primus GFS、GLOBALG.A.P.、CANADA GAP、SQF のみです。

#### (参考 2) 一般財団法人日本 GAP 協会 (JGF) について

日本 GAP 協会は、世界に通用する日本の本格的な第三者認証の GAP を創り、普及することを目的として 2006 年より活動してきました。ASIAGAP と JGAP の 2 つの GAP 認証制度を運営しており、両者を合計した認証農場数は 4,213 農場です (2018 年 3 月時点)。また、これまでの青果物、穀物、茶に加え、新たに JGAP 家畜・畜産物の運用も開始しています。